

16期 第6号 通巻179号 12月10日発行

16期プリテン第6号(2025年12月号)

京都ZEROワイズメンズクラブ

CLUB CHARTERED 2010



happyforest Halloween

京都ZEROワイズメンズクラブ16期 会長主題



超 感動

『 感動をともにする仲間に 』

Table of Contents

- 卷頭記事 『書記として』
竹園憲二 室岡大介
- 11/2 『松茸山再生プロジェクト』
- 11/8 『かすがのえんにこにこフェスタ』
宮口彰治
- 11/9 『ワイズデー』
堂脇武
- 11/27 『第二例会』
佐藤善紀 末弘竜史
- 11/29 『チャリティライブ』
佐古田正美

精一杯 関わる

『書記として』 16期内部書記 竹園憲二

ZEROクラブも16期目を迎えるに、現在クラブメンバー数は37名になり大変クラブも盛り上がっております。

ブリテンのテーマを書記として巻頭依頼がありましたので役職について書きたいと思います。

16年間で私は、会長・三役・各委員会委員長と色々な役職を務めました。

役職は人を育てると言いますが私が良い例です。

役職によって全体の事を考え、メンバーに迷惑がかからないよう活動してまいりました。

そこから自分自身と違う自分が育つのだなと今、思います。

役職は引き受けてもその期の1年間だけです、自分なりに精一杯関わる事によって自己研鑽にもつながります。

ワイスメンズクラブを通じて色々な事を学んで欲しいと実体験で申し上げたいです。

冒頭にもメンバー数が37名と申し上げましたがメンバー数が27名の時に内部書記を務めましたがメンバー数が増えますとまたまた全然違います。

状況が変われば対応も変わるので今更学んでいます。

人にはタイミングがあります、自分タイミングでワイスライフを自分為に活動して欲しいです。





残り半年
よろしく
お願ひ申します!

『外部書記として』 16期書記 室岡大介

外部書記の室岡です。

外部書記の役割として半年報・事業報告の提出確認、他クラブ、区、部、国際との連絡窓口、ホームページの更新（ファンドページと写真は、ファンドとブリテン委員会）、YMCAニュースの配布、クラブリーフレットの更新、新メンバー並びにゲスト名札の作成、メーキャップ報告及びカードの作成、発行、ゲストへの礼状送付があります。

メンバーの皆さんには他クラブの例会やイベントの参加等でご連絡させていただく事が多いです。

外部書記を担当させていただいて業務の多さに驚いています。

内部書記の竹園Yや前期の高倉Y、会計の宮越Yなど沢山の方にフォローしていただきながら業務をしております。

いつもありがとうございます。

また、ファンドと国際奉仕委員会の担当三役をさせていただいています。

どちらも入会してから所属したことがない委員会なので勉強させていただいている

残り半期、色々とご迷惑をおかけする事もあると思いますがよろしくお願ひ申し上げます。

『松茸山再生プロジェクト』



『かすがのえんにこにこフェスタ』

EMC事業委員 宮口彰治

かすがのえんこども園にこにこフェスタ。

当日は最高の秋晴れ。

子どもたちのために、様々な工夫を凝らして職員さんもサポート頑張ってました。

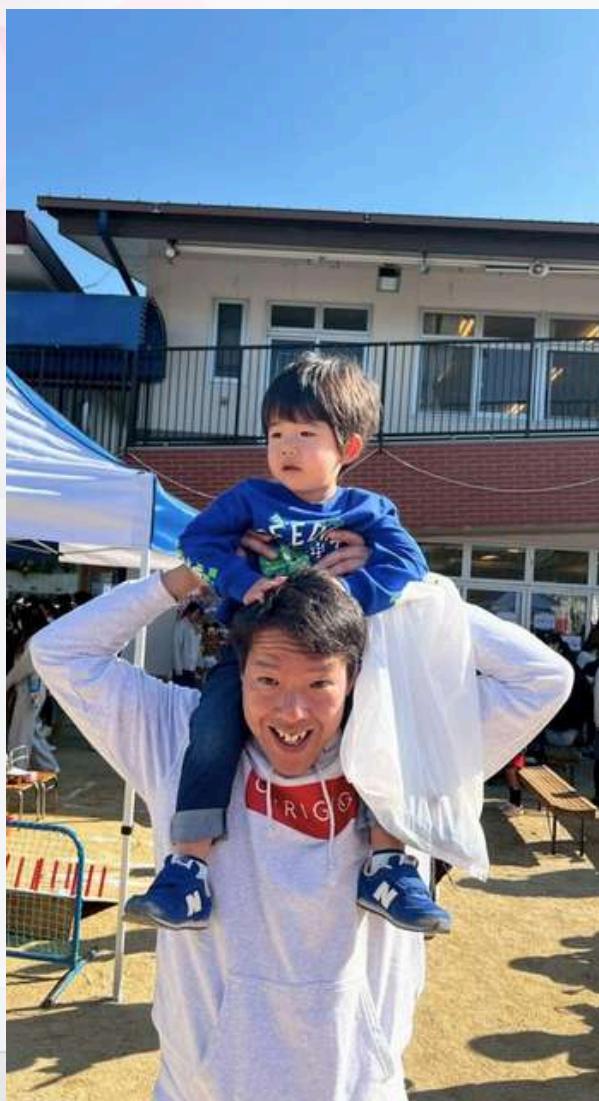
グルメ、バザー、親子で楽しむイベント等盛りだくさん。

ゼロクラブも射的、ワニワニパニックで参加
子どもたちのイベントでは、けん玉、空手、吹奏楽など在園児や卒園児さんが楽しそうに頑張ってました。

最も身近に子供さんたちが見れました。

夫婦で参加出来てよかったです（笑）

子どもたちが集まりやすい園でした。





『ワイスデー』 ドライバー事業副委員長 堂脇 武

地域イベント参画で実現！賑わいを見せたワイスデー。

前期は京都部のCS主査として企画・運営に携わりましたが、今期はクラブの一員としてワイスデーに参加させていただきました。

本年のワイスデーは、地域を盛り上げるイベント

「三条通り遊んでみよし」に参画し、歴史ある三条のYMCA本館をメイン会場として開催されました。生憎の雨模様となりましたが、その熱気は天候に左右されることなく、多くの子ども連れの方々にご来場いただき、賑わいを見せました。

各クラブが趣向を凝らした物販や催し物を行う中、我々zeroクラブが担当したのは、子どもたちが楽しむゲームコーナーでした。

昔ながらの縁日をイメージし、射的、輪投げ、そして色とりどりのスーパー poc-a-tac すくいといった定番ゲームを用意しました。

特に水槽に手を伸ばし、夢中になっている子どもたちの姿は、イベントの賑わいを象徴していました。私は午前中ののみの参加でスーパー poc-a-tac すくいを担当しましたが、子どもたちの「楽しかった！」「ありがとう！」という笑顔と声に、地域貢献活動の喜びを改めて感じることができました。

私は観る事は出来ませんでしたが、プロの技も披露！豪華なスポーツ企画会場では、さらにイベントを彩る豪華なスポーツ企画がありました。

一つはプロ卓球チーム、京都カグヤライズによる迫力満点の卓球ラリーショー。

二つ目は、バスケットボールのシュート体験コーナー。

三つ目は、元Jリーガーの原一樹さんによる華麗なリフティングショー。

プロフェッショナルな技を間近で体感できる貴重な機会となり、来場された皆さんに大きな感動を与えたと思います。

また、生憎の雨にも関わらず、たくさんの方々にご来場いただけたことは、ワイスの活動への理解と、地域の方々との繋がりあってのことだと思います。企画・運営された京都部役員の皆さまをはじめ、参加・ご協力いただいた皆さま本当に疲れ様でした。





『第2例会』 佐藤 善紀

恥ずかしながら、久しぶりの例会出席。

本日の例会は、グローバルクラブ所属だけでなく、西日本区EMC主任の久保田様をお招きし、「らーめん屋には夢がある～M&Aの世界～」と題してご講演いただいた。

久保田様に当クラブでご講演いただくのは、今回が2回目である。

前回と同様にどのようなお話をしていただけるのだろうかと期待を大きくもって臨んだ。私以外にも多くの方々がこの例会を楽しみされておられ、加藤会長からも堂脇Yもどうやったらお金持ちになれるのかを聞きましょうというあたりのような誘い文句とこれに応答するような笑い声の中、久保田様のご講演が始まった。

経営とはなんぞやということ、多くは営業しているだけ、経営をしていないというご指摘があつた。耳が痛い話である。

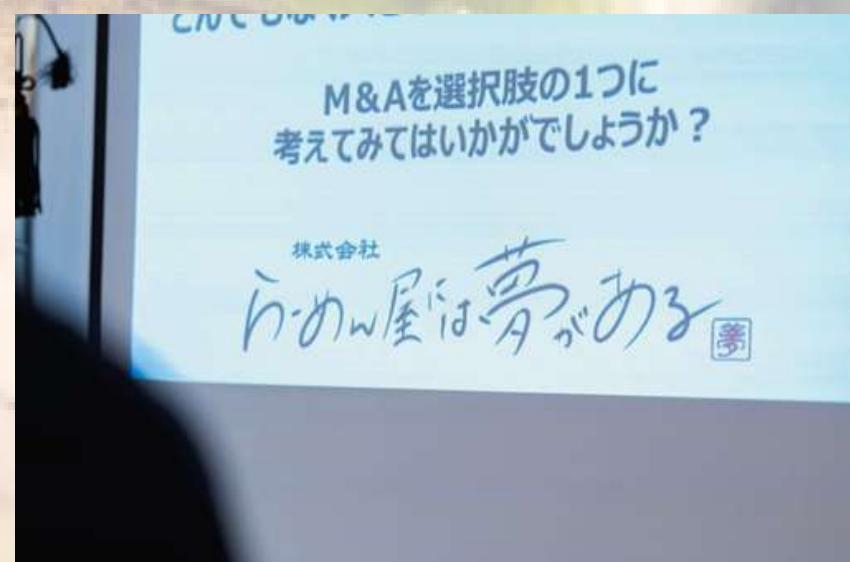
雨の日にらーめんは売れない。
という業界の定説に立ち向かうように、雨の日にクーポンを出して集客をする。といった工夫。

前回以上の経費のコントロール。人件費31%、原価率27%、新店舗の出店は15か月で回収できるか、などなど。

コントロールどころか数値化していない自分を戒めながらさらに耳を傾けることに。

これらを徹底した結果、会社を高く評価してもらい、M&Aにより大金をということであるが、実際は簡単な話ではない。

営業ではなく経営をし、経費コントロールと大きなピンチを乗り越えてつくりあげた結果である。なかなか真似ができない、多くの成功のエッセンスを頂戴し、ゲストの方々多くご参加いただき、盛会となった。



『第2例会』 末弘竜史



今回の第三例会では、キラメキノ未来株式会社・久保田社長のご講話を通じて、ラーメン業界のM&Aという一見華やかなテーマの裏にある、極めて人間的かつ緻密な経営の現場を垣間見ることができました。

吉野家HDの傘下入りというニュースは、表面的には企業規模拡大の“成功物語”として捉えられがちですが、久保田社長が語られた背景には、創業者が抱く葛藤と責任、そして「社員の幸せ」を最優先する思想が一貫して存在していたことが強く印象に残りました。

特に創業期からの積み上げの中で、あるタイミングで十三名の従業員が一斉退職した経験を語られた場面は、経営者として最も厳しい現実と向き合いながら、そこから“仕組みと教育の重要性”へと思想が転換していった象徴的な瞬間だと感じました。あの出来事があったからこそ、社員教育・評価制度・キャリアアップ設計が今のキラメキノトリの礎になっているという言葉には、深い説得力がありました。

また、コロナ禍という飲食業界にとって最も厳しい時期にあえて出店を止めず、むしろ攻めに転じたという話は、単なる勢いや感覚ではなく、「定数と変数」の構造理解に基づく緻密な戦略判断だったことも学びとなりました。売上を“定数×変数”と捉え、変数部分を最大化するための要素を徹底分解し、教育・商品力・ブランド価値・立地選定といった打ち手を積み上げていく姿勢は、我々自身の事業にも応用できる視点だと感じました。

そして、吉野家HDとのM&Aを前向きに捉えるに至った理由が、自身の利益や規模拡大ではなく「社員にとってより良いステージと未来を用意できるか」という問いに終始していた点は、心を揺さぶられました。創業の魂と、より大きな枠組みに委ねる決断の狭間で、社長が選ばれた道は、まさに“リーダーの覚悟”そのものであったと感じます。

今回の例会を通じ、経営とは数字や戦略だけではなく、“人の成長と幸福の総和を最大化する営みである”という原点をあらためて学ばせていただきました。自分自身の役割やリーダーシップの在り方を見つめる大きな気づきとなり、明日から現場で試したい視点が数多くありました。

久保田社長の実体験を伴うご講話に、心より感謝申し上げます。

『リトセン60周年記念 チャリティライブ』 佐古田正美

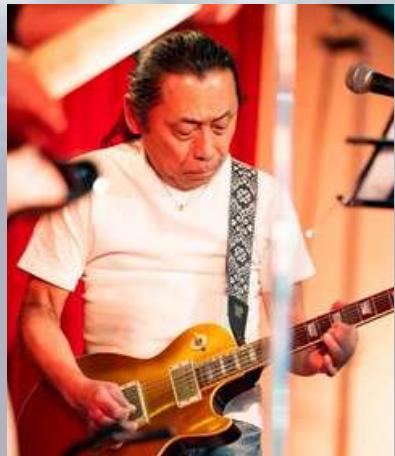
1月29日の土曜日、ライブハウスアメリカングラフィティーズにてリトリートセンター60周年記念募金ライブを開催しました。

当団は当バンドメインボーカルの佐古田ひかりを東京出張のため欠き、さらにメインバンドのFrom99に急遽、当キーボード奏者を送り込み、とドタバタ感満載のステージとなりました。

また、チケット代金を飲み放題食べ放題の3,500円に設定したため全額を店側に支払うこととなり、肝心の募金活動は募金箱を用意して、お乞食さんのごとく参加者さまに頭を下げる羽目になりました。

でもおかげさまで心優しい参加者さまに恵まれ、34,400円の募金が集まりました。

60周年募金委員会のメンバーとして来年もライブを続けて行きますので、みなさまよろしくお願い申し上げます。



The Best Shot Award

Top 3 Photography Awards
Select and Comment Shota Ibusuki



『ボクの手を
見て見て！』
撮影者 井上和久Y



『親子でお仕事お疲れ様です。』
ヴレンダY



『久保田Yのお話を聞いて皆さん真剣！』
ヴレンダY

11月のベストショット賞は、井上和久ワイスでした♪
いつもたくさん写真をアップして頂きありがとうございます！
優勝者の井上和久ワイスには 3,000円分の賞品を進呈いたします。

毎月ベストショット賞の賞品が出ています！全員にチャンスあり♪
皆様のお写真どんどんグループラインにアップのほどよろしくお願ひいたします！

HAPPY BIRTHDAY

11/1 井上 和久 11/2 堂脇 武 11/7 井上 晴雄
11/10 室岡 大介 11/11 保匠 11/16 五十嵐 新太 11/26 大西 宏明

HAPPY ANNIVERSARY

11/2 山田維久仁 & 由衣 11/3 赤間亮介 & 詩織
11/22 指宿正太 & 美貴 11/24 中村 隆仁 & 真由美

YMCA NEWS

リトリートセンター開設60周年記念募金

すでにご支援くださった皆さんに、心より感謝申しあげます。

この場所が子どもたちや青少年の育ちの場としてさらに充実していくよう

今後も努めてまいります。引き続き、募金へのご協力をお願いいたします。

詳細は下記二次元コード、または <https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446> を読み込んでご覧ください。



YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

今月の聖句

新約聖書 テサロニケの信徒への手紙II 2章16~17節

どうか、わたしたちの主イエス・キリストご自身と、わたしたちを愛し
恵みをもって永遠の慰めと確かな望みとを賜わるわたしたちの父なる神とが
あなたがたの心を励まし、あなたがたを強めて、すべての良いわざを行い
正しい言葉を語る者として下さるように。

京都ZEROワイズメンズクラブ
会長主題

『超感動』

～感動をともにする仲間に～

国際会長

エドワード・オン

主題 “Faith, Love, Action”

スローガン “Together Stronger”

アジア太平洋地域会長

田上 正

主題 “Act now with faith and love”

スローガン “Contribute to local society,

together with YMCA and Youth”

西日本区理事

中井 信一

主題 「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!」

スローガン 「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」

京都部部長 隠塚 功

主題 次のステージを求めて！

「Looking for the next stage！」

強調月間

「すべての人を一つにしてください。」ヨハネによる福音書17章21節。

YMCAとワイズメンズの理想を愚直に掲げ、

クラブ内外に発信しながら奉仕しましょう。

藪秀実 クリスチャニティー委員長（近江八幡）

IBC・DBC

締結しているクラブ同士で交流を深め、共同事業を検討しましょう。

締結を考えているクラブは他クラブを訪問し、交流を深めましょう

中西賢一 国際・交流事業主任（熊本にし）

11月

二コニコ
第一例会 0円
第二例会 23000円
合計 23,000円
累計 57,000円

ファンド益
11月 4,500円
累計 467,073円

第一例会M15名 G3名
第二例会M 20名 G9名
月間出席者 27/37
月間出席率 73.0%

締結クラブ

IBC Kaimuki Y Service Club(ハワイ)
DBC 阿蘇ワイズメンズクラブ(熊本)
長浜ワイズメンズクラブ(滋賀)

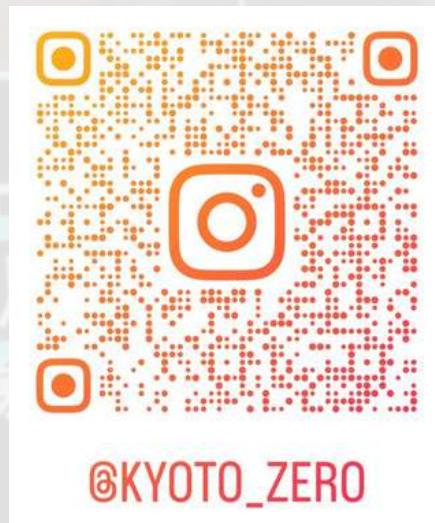


Instagram隨時更新中

例会やワーク、各委員会の様子など
投稿しております。

『フォロー&いいね』
よろしくおねがいいたします。

FOLLOW ME





京都ZEROワイズメンズクラブ Instagram運用状況

11月の投稿

リール動画と投稿の閲覧数

2,455

フォロワー以外の閲覧数

57%

フォロワー

100

閲覧数上昇中

メンバーシップ

YMC Aはプログラムに参加する子どもたちや大人の方、ボランティアとして活動に携わる方々によって支えられている団体です。一人一人に合ったかたちで京都YMC Aとの関わり方を選び、活動を通して人とつながり、子どもも大人も成長していく環境があります。



ボランティア

YMC Aは、170年あまり前にボランティア精神に基づき組織され、世界に広がりました。地域のニーズに応えて活動を続けてきた「ポジティブネット」のある豊かな社会をつくるボランティア団体です。みんなが共に生きていくために、自分ができることは何かを考える。様々な人たちがYMC Aを通してボランティア活動を行っています。



こどもプログラム

YMC Aは活動を通して、人格の向上に大切な価値として「CARING（思いやり）」、「HONESTY（誠実さ）」、「RESPONSIBILITY（責任感）」、「RESPECT（尊敬心）」を子どもたちへ伝え、子どもたち一人一人が自分を大切にするとともに、自分以外の人も大切にできる生き方を身に付けてほしいと願っています。



大人プログラム

したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。アクティブな運動プログラムから英会話など知性を養うプログラム、ボランティア活動など一人一人のしたい何かが見つかり、活動を通して誰かとつながる。YMC Aは、生涯にわたり自分を高めていけるかけがえのない場所です。



京都YMC A国際福祉専門学校 介護福祉学科

今の自分となりたい自分。その間を結ぶのが京都YMC Aでの2年間。介護福祉士として社会で自信を持って仕事を行うために、京都YMC Aでは、知識と技術の習得を、演習と実習によって深めていけるよう努めています。あなたの福祉業界での夢の実現につながる第一歩です。





京都Y M C A国際福祉専門学校 日本語科

ことばは、人と人が分かりあえる素晴らしい道具。新しい文化を知ること、わかりあうこと は、豊かな未来へつながっていきます。みなさん、もう一つのことばを学んでみませんか。日本語を学ぶことを通して、世界を広げ、平和の芽を育てたい。それがY M C Aの願いです

リトリートセンター

琵琶湖へ注ぐ川はたくさんありますが、流れ出る川はたった1本。その瀬田川が、宇治川に名前を変えるあたりから支流の笠取川をしばらく山手へ上がると、やがて40年育ったメタセコイアの森陰に、茶色のロッジが見えてきます。そこが京都Y M C Aリトリートセンターです。



舞鶴Y M C A国際福祉専門学校

「海の京都・舞鶴」で人を笑顔にする魔法を学ぶ。いつも正直で、人にやさしく、責任感を持って、信頼される職業人となれるよう、その人格形成を重視した自立を促す参加型授業を提供します。Y M C Aの持つネットワークや社会貢献の強みを生かし、介護福祉と国際観光、2つの分野で自信をもって活躍する人材を育てます。



英会話

Y M C Aは、語学教育を通して、地球市民を育てます。

The Y M C A pledges to foster global citizenship through language education.



成人スイミング

25m×5コースの温水プールでは、スイミングやウォーキングを楽しんでいただけます。水中運動は、膝や腰など、必要以上の負担を軽減し、筋力を高めていくことが可能です。また、全身運動であることから、日常生活を生き生きと過ごす体力を向上させることができます。







京都 ZERO
ワイズメンズクラブ

The Y's Men's Club of Kyoto

ZERO

since 2010